

A close-up, profile view of a woman with long, dark hair, looking down at a single, light blue feather she is holding between her fingers. The background is dark, making the woman's face and the feather stand out. The overall mood is serene and artistic.

Flamenco Recital

Encuentro de Nuevo

～再会～

青井美智子へ捧ぐ

2013.2.3 Sun

Open 12:30 Start 13:00

EL FLAMENCO

PROGRAMA プログラム

一部

1・GARROTÍN ガロティン

踊り/神田 玲子・黒須 亜理砂・佐藤 裕美・出口 薫・山中 美和子

2拍子系で非常に陽気な曲調。帽子を持って踊られることが多い。このガロティンは10年以上前に鶴和子先生のクラスで青井美智子さんと共に学んだ曲。当時の振り付けもそのまま入れ気持ちを一つに踊ります。

2・CANTE Y GUITARRA カンテ イ ギターラ

3・ALEGRÍAS アレグリアス

踊り/出口 薫

港町カディスに生まれた喜びという意味を持つ陽気で活発なフラメンコの代表曲。

4・TIENTOS ティエントス

踊り/佐藤裕美・山中美和子

手探りという意味を持ち切ない恋の唄が多い。最後はタンゴに展開していく。

5・GUAJIRA グアヒーラ

踊り/黒須 亜理砂

キューバが起源とされる民謡からきた明るくのだかな曲。スペインの扇子アバニコを持って踊ることが多い。ハバナの情景や愛が唄われている。

6・SOLEÁ ソレア

踊り/神田 玲子

孤独という意味を持ちフラメンコの母と呼ばれ重厚で悲哀ある曲。



二部

1・CANTE Y GUITARRA カンテ イ ギターラ

2・SIGUIRIYA シギリージャ ～祈り～

魂の叫び、苦悩や嘆きを表現するカンテホンド(奥深い唄)の曲。

踊り/鶴 和子

3・FIN DE FIESTA フィン デ フィエスタ

踊り/全員

ARTISTA アーティスト

CANTE 唄 / アギラール・デ・ヘレス 深澤 良子

GUITARRA ギター / 鈴木 英夫 久米 道弘

CAJÓN カホン(パーカッション) / イグナシオ・ツル

陶画制作展示 / 河合 りえ子(*Atelier la Primavera*)





ご挨拶

2003年2月1日にフラメンコ仲間の友人・青井美智子さんが病で亡くなられてから十年の月日が過ぎました。

フラメンコのお教室はとかく個性豊かな人が集まるものですが、美智子さんはその中で誰にも細やかな心配りをし、いつも潤滑油のような役割を負ってくれました。体には不安を抱えていたのに、真面目に稽古に通い、先生や仲間をサポートし、皆から慕われていました。時折ふと姿を消し、またしばらくすると戻ってくることもありましたが、具合を悪くしていたのだとわかったのは随分後のこと。美智子さん自身が体について語ることは殆どありませんでした。彼女が本当に姿を消してしまった時、仲間の誰もが深い悲しみにくれ、言葉を失いました。

私達は集まれば「いつか追悼の会を開きたいね」と話してきましたが、それぞれが体や生活が自由にはならない事情を抱え、夢で終わってしまうのでは、と諦めかけていた時もありました。ところが、ようやく実現できるかもしれない、と動き始めてみると、まるで誰かに後押しをしてもらっているかのように進んで来ることができました。私達の師であり、日本を離れて久しい鶴和子先生と息子のイグナシオ君も参加して下さることが決まった時には、まるで奇跡がおきたように感じたものです。

今回の仲間はフラメンコばかりに時間を費やすことができず、不安も一杯抱えて今日を迎えています。私達のつたないフラメンコで何かできるわけでもないのですが、美智子さんを思い、あの頃気付かず、また伝えることができなかつた様々な思いを込めて、祈るような気持で舞台に立たせていただきます。

美智子さんと、彼女を召された神様の導きによって、今日ここで多くの再会が果たされることでしょう。

この日を迎えるにあたり、多くの方のご厚意とご協力をいただいたことに、深く感謝いたします。とりわけ、美智子さんのご両親であられる青井様ご夫妻へ心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

2013年2月3日 Encuentro de Nuevo 主催 神田玲子 黒須亜理砂 深澤良子



青井美智子さん～2001年愛猫と一緒に





Encuentro de Nuevo～再会～によせて

本日は青井美智子さん追悼公演 Encuentro de Nuevo～再会～においでくださいませありがとうございます。

青井さんが亡くなられてすでに十年の月日がたちました。二十数年前フラメンコを通して出会った青井さん。彼女への思いを何とか公演を通して追悼したいと願いながら、また仲間たちとも再会(Encuentro de Nuevo)したいと時をかけて考察し、温めながら踊り続けてきました。

今回私に帰国と再会の機会を与えてくれた仲間たちに感謝すると共に、青井さんへの追悼を祈りと踊りを通してできますことをこの上ない喜びと感じております。

また常に激励の言葉をくださり見守ってくださったマドリッド在住のテレサ西塚さんに感謝の意を表したいと思います。

2013年2月3日 青井さんに愛をこめて 鶴和子

Artistas Invitadas

鶴 和子 Kazuko Tsuru (特別ゲスト)



幼少の頃より新体操・バレエを始め、1971年福岡より上京し、フラメンコに出会う。

1978年東京新聞主催「フラメンコ・コンクール」に入賞。1979年より渡西を繰り返し、巨匠エンリケ・エル・コッホ、ミラグロ・メンヒバル、マノロ・マリンらに師事。東京、横浜にて後進の指導にもあたる。1990年草月ホールにおいてリサイタルを開催。

1996年より日本を離れ、「カンテの揺りかご」と言われるサンルーカル・デ・バラメータに移住。アンダルシア地方各地のペーニャやテレビ番組に出演する傍ら、現地の小学校にて子どもたちに踊りを教える。在西16年。

イグナシオ・ツル Ignacio Tsuru (特別ゲスト)



4歳よりアンヘル・エル・セピージョの元でカホンとコンパスを学ぶ。

2009年ピアニストのボルハ・エボラのグループに参加、ミーナ・カルタヘーナのコンクールにてピアノ部門優勝に貢献。2010年より歌手マリア・メスクレの新譜発表、セピージャのビエナル、フェスティバルヘレス等々アンダルシア各地の催しに出演。近年はムシカモデルナの制作に携わっている。

将来を嘱望される新進パーカッショニストである。

Cante y Guitarra



Aguilar de Jerez アギラール・デ・ヘレス

ヘレス・デ・ラ・フロンテーラに生まれ育ち、フラメンコの本場で少年時代からフラメンコの知識を身につける。後ギターを習得しカンテを根源まで極めるに至る。84年より地元カディスの雑誌にフラメンコの各スタイルについて長年執筆。その後、地方紙『ディアリオ・デ・ヘレス』に、フラメンコに関する記事を寄稿。ヘレス大学でフラメンコの講演をおこなう。85年、セラーナの歌唱で1等賞を受賞。現在重要な踊り手たちの伴唱をこなしつつ、日本の他ヨーロッパや米国等世界中でカンテを教える。



深澤 良子

日本人カンテ第一人者、瀧本正信氏の指導のもと、カンテを学ぶ。また、スペイン人アーティストマノロ・セビージャ、アンヘラ、アナマリア・ロベス等に師事。

現在は教室の発表会、また都内のライブなどを通じて修行中。



鈴木 英夫

クラシックギターを独学後フラメンコに転向。日本各地のタブラオに専属出演。72年渡西。巨匠マノロ・サンルーカルに師事。現地の舞踊団の専属ギタリストとしてスペイン国内をはじめ、ヨーロッパ各地で公演。78年帰国後全国各地で活躍し、80年ソロLPを発表。84年初リサイタルを開き、テレビ、映画等に出演。音楽担当したテレビドラマ、CM音楽も数多い。99年デビュー30周年リサイタルを開催。最近ではTUBEやオレンジレンジといったアーティストのアルバムにゲスト参加するなど、国内はもとより海外に於ても活動。鈴木英夫フラメンコギターアカデミー主宰。日本フラメンコ協会理事。



久米 道弘

秋田県出身。瀬田彰氏、金田豊氏にフラメンコギターを師事。99年と02年の2年間スペイン・セビージャに滞在。ラモン・アマドールに舞踊伴奏の基本を教わりながらホセ・ガルバンスタジオでクラス伴奏をし、自分なりに研究する。その間タブラオ・舞台等でホセ・ガルバン、パストーラ・ガルバン等の伴奏で修行をする。現在は都内を中心にタブラオ・舞台での出演やクラス伴奏で活動中。

Baile

*神田 玲子

85年より鶴和子氏のもとでフラメンコを始め、89年より田中美穂氏に師事。94~95年スペインへ留学。96年帰国記念リサイタルを開催後、ライブ・イベント等に出演しながら横浜にて教授活動も行う。

*黒須 亜理紗

93年より鶴和子氏のもとでフラメンコを始める。98年短期渡西。数年のブランクを経て06年より田中美穂氏に師事しながらライブ・イベント等に参加。11年戸田市にスタジオソニリサを開き指導も始める。

*佐藤 裕美

学生時代にオーケストラでチェロを担当。欧州旅行の際にフラメンコを知る。小学校に勤めるかたわら、鶴和子氏の教室で美智子さんと出会い親交を深める。その後、神田玲子氏、田中美穂氏に師事。仕事を言い訳に、フラメンコは細〜く長〜くがモットー。

*出口 薫

98年より神田玲子氏に師事。当時アシスタントをしていた青井氏に基礎を学ぶ。06年結婚後、群馬に移り小田澄江氏に師事。08年シンガポールに転勤、服部和子氏に師事。海外での舞台も経験する。昨年10月、帰国が決まり古巣に参加となる。

*山中 美和子

84年少年サッカーチーム立ち上げと共に審判資格取得 チーム運営とコーチとして20年努める。94年 星みゆき氏の元でフラメンコを始め後神田玲子氏に師事し青井さんと交流を深める。現在は田中美穂氏にも師事し勉強中!

Memorias



- 二人で巡った真夏のスペイン、のんびり遊んだ海辺、ひっそりと裏方で私を助けてくれたこと、踊りの中に魂が見えた瞬間、最後に会った雨の中のクリスマスのイルミネーション…美智子さんとの思い出を胸に今日舞台へ向かいます。(神田玲子)
- 青井さん、思い出すのは温かく優しい包み込むような笑顔。そしてアバニコを持ち優雅に扇ぎ踊っている姿。あなたみたいな優雅さは私には足りないけれど今日は力を借りて青井さんの得意だったグアヒーラを踊ります。(黒須亜理紗)
- 美智子さんは、そっかしい私のことをいつも心配し、10年たった今でもはらはらしながら見守ってくれている気がしています。今日は、感謝の気持ちを込めて踊ります。(佐藤裕美)
- 青井先生の訃報を聞いた翌朝、先生に頂いたタオルと同じ物が道に落ちていました。あれは“涙を拭いて”という伝言だったのでしょうか？それ以来舞台の時はタオルがお守りです。また一緒に踊って欲しいという祈りと共に。(出口薫)
- 青井さんと出会ったのは神田先生との出会いがきっかけでした。今回踊るティエントは網島スタジオで二人で自主練習した思い出のある曲で彼女に頂いたペイネタをお守りに付けて踊ります。(山中美和子)
- 本日スペインより鶴和子先生をお招きし、このステージにて一緒にできる事に私たち生徒一同は感無量です。私をはじめてフラメンコに出会ったのは鶴先生のクラスでした。そこで青井美智子さんと共にレッスンを受け、教室の発表会ではガロティンと一緒に踊った事がまるで最近のこの様に鮮明に覚えています。現在はカンテの修行中ですが心をこめて美智子さんに捧げます。(深澤良子)
- フラメンコから離れ長い年月が経ちましたが、鶴先生&当時を共に過ごした友人達と、再び集う日が訪れるとは夢にも思いませんでした。皆さまと共有するかけがえのないひとときは、青井さんからの贈物だと感じています。(河合りえ子)
- 初めての渡西時にCD等の荷物を預かってもらったりお饞別をいただいたり、青井さんには色々とお世話になりました。(久米道弘)



Información

鶴 和子(バイレ) & Ignacio Tsuru (カホン) クルシージョ

日程：2013年2月6日(水)~2月10日(日)

昼、夜クラスあり

※個人・セミプライベートレッスン等相談に応じます。

場所：渋谷/スタジオ セルパティージャ、新大久保/スタジオ プリメーラ

曲目：ブレリア、タンゴ、シギリージャ、カホン&コンパス

詳細は別紙クルシージョ情報、またはスタジオソリサHPにてご確認ください
だけです。

お問合せ&お申込みはスタジオソリサHPお問合せフォームまで
<http://studio-sonrisa.com/>
sonrisaarisa@ybb.ne.jp

協力

新宿 エルフラメンコ

スタジオ プリメーラ、スタジオ セルパティージャ、スタジオ アモール・デ・ディオス、スタジオ ソリサ

衣装協力

アトリエSEDA、アトリエ・プリマ、SWASH.LONDON(山中聡男)

陶画制作展示、チラシ制作 河合りえ子 (Atelier la Primavera)

チケット、パンフレット制作 有田繭

ビデオ撮影 スタジオ プリメーラ

写真撮影 中尾務

アナウンス 小泉まみ

Special Thanks to

田中美穂、チャリート剣持

畠野志保、藤本由加里、柳川絹子

